

科目名	はじめてのボランティア						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	春学期	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次	単位数	2単位
教員名	芝原 浩美						

授業概要／Course outline

京都をはじめ日本で実践されているボランティア活動の基礎を知り、事例等に触れ、自分自身の考えを見つけることをめざします。「ボランティア」という言葉は、1970年代から日本で使われるようになり、「阪神・淡路大震災（1995年1月17日）をきっかけに広く注目される存在となりました。現在では多種多様なテーマでボランティアが活躍しています。

本科目では「ボランティアとは何か」「何を大切にしているのか」について、基本的な内容について具体的な事例や受講生同士のディスカッションやペアワーク、グループワーク等を通して、総合的に学びます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク）

基本的に全ての回で4人程度のグループワークやペアワークを取り入れる。

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

14回の対面授業と、1回（90分相当）のオンデマンド授業を行う。

- ・実務経験のある教員による授業

若者のボランティア活動推進やボランティアコーディネーション、NPOのボランティアマネジメント支援等の実務経験を有する講師が担当します。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回：イントロダクション、授業概要

授業スケジュールの確認。授業のねらい、受講上の約束事、評価方法に関するルール等についての説明。

- ★オンデマンドその1 テーマ：アカデミックライティングの基礎（20分程度）

配信予定日：4月11日まで

第2回：ボランティアとコミュニケーション

「大学の学び」に不可欠な「コミュニケーション」について体験を通して学ぶ。

- ★オンデマンドその2 テーマ：傾聴・対話の基礎（20分程度）

配信予定日：4月18日まで

第3回：ボランティアとは何か？①「8つのキー概念（自発性・主体性）」

受講生の「ボランティア」に対するイメージや考え方等について、グループワークを通して見出す。

第4回：ボランティアとは何か？②「8つのキー概念（無償性・非営利性）」

「ボランティア」の定義の解説と、具体的な事例について解説し、グループワークを通して学ぶ。

第5回：ボランティアとは何か？③「8つのキー概念（社会性・公益性、先駆性・創造性）」

「ボランティア」の定義の解説と、具体的な事例について解説し、グループワークを通して学ぶ。

第6回：ボランティアとは何か？④「ボランティアが生まれる時」

「ボランティア」具体的な事例について、新聞記事等を題材に、グループワークを通して深める。

- ★オンデマンドその3 テーマ：さまざまなボランティア活動（20分程度）

配信予定日：5月23日まで

第7回：確認テスト①／寄付とボランティア①「寄付の実際」

第1回から第6回までの授業内容の理解度をはかる「確認テスト①」を実施する。

「寄付」について、定義や具体的な事例を解説。寄付に関するグループワークを行う。

- ★オンデマンドその4 テーマ：確認テスト①解説（10分程度）

配信予定日：5月30日まで

第8回：寄付とボランティア②「寄付の種類、海外との比較」

「寄付」について、寄付の歴史や種類、海外との比較などを解説。寄付に関するグループワークを行う。

第9回：災害とボランティア①「災害の歴史」

日本における災害の歴史等を解説し、グループワークを通して深める。

第10回：災害とボランティア②「災害ボランティアの実際、多様な復興支援」

「災害ボランティアの実際、多様な復興支援」について解説し、グループワークを通して深める。

第11回：確認テスト②／これまでのふりかえり

第7回から第10回までの授業内容の理解度をはかる「確認テスト②」を実施する。

第1回から第10回まで授業内容の中から、補足講義を行い、テーマについてさらに深める。

★オンデマンドその5 テーマ：確認テスト②解説（10分程度）

配信予定日：6月27日まで

第12回：ボランティアを多面的にとらえる①「受け入れ側の視点」

ボランティアを受け入れる側の考え方や具体的な計画について、グループワークを通して学ぶ。

第13回：ボランティアを多面的にとらえる②「求められる態度・姿勢」

ボランティアがめざす社会、めざす姿勢・態度について、グループワークを通して学ぶ。

第14回：最終テスト／授業のまとめとふりかえり

第1回から第15回までの授業内容の理解度をはかる「最終テスト」を実施する。

ペアワークを通して、全体のふりかえりを行い、学びをさらに深める。

★オンデマンドその6 テーマ：最終テスト解説（10分程度）

配信予定日：7月18日まで

※基本的に全ての回でグループワークやペアワークを取り入れる授業のため、積極的な姿勢で授業にのぞむこと。

※社会状況ならびに授業の進捗状況により、若干の変更の可能性があります。変更する場合は事前に通知します。

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回：イントロダクション、授業概要

【事前学修】 新聞記事やニュースに触れ、社会課題や地域課題、ボランティア活動に関する情報収集を行うこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

★オンデマンドその1 テーマ：アカデミックライティングの基礎（20分程度）

第2回：ボランティアとコミュニケーション

【事前学修】 「大学での学び方」「傾聴」について、自分なりの考えを整理しておくこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

★オンデマンドその2 テーマ：傾聴・対話の基礎（20分程度）

第3回：ボランティアとは何か？①「8つのキー概念（自発性・主体性）」

【事前学修】 ボランティアについて自分なりの考えを整理すること。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第4回：ボランティアとは何か？②「8つのキー概念（無償性・非営利性）」

【事前学修】 「8つのキー概念（自発性・主体性）」について復習し、自分の言葉で説明ができるようになっておくこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第5回：ボランティアとは何か？③「8つのキー概念（社会性・公益性、先駆性・創造性）」

【事前学修】 「8つのキー概念（無償性・非営利性）」について復習し、自分の言葉で説明ができるようになっておくこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第6回：ボランティアとは何か？④「ボランティアが生まれる時」

【事前学修】 「8つのキー概念（社会性・公益性、先駆性・創造性）」について復習し、自分の言葉で説明ができるようになっておくこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

★オンデマンドその3 テーマ：さまざまなボランティア活動（20分程度）

第7回：確認テスト①／寄付とボランティア①「寄付の実際」

【事前学修】 第1回から第6回の授業内容をふりかえること。「寄付」について自分なりの考えを整理すること。

【事後学修】 確認テスト①を見直し、授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

★オンデマンドその4 テーマ：確認テスト①解説（10分程度）

第8回：寄付とボランティア②「寄付の種類、海外との比較」

【事前学修】 「寄付」にどんなものがあるか、インターネット等で調べること。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第9回：災害とボランティア①「災害の歴史」

【事前学修】 過去に起きた災害について、家族に当時の話をヒアリングしたり、自分の経験をまとめておくこと。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第10回：災害とボランティア②「災害ボランティアの実際、多様な復興支援」

【事前学修】 「災害ボランティアの歴史や支援方法」について、インターネット等で情報収集すること。

【事後学修】 授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第11回：確認テスト②／これまでのふりかえり

【事前学修】 第7回から第10回の授業内容をふりかえること。

【事後学修】 確認テスト②を見直し、授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

★オンデマンドその5 テーマ：確認テスト②解説（10分程度）

第12回：ボランティアを多面的にとらえる①「受け入れ側の視点」

【事前学修】第3回から第11回の授業および事後学習で取り上げたボランティア活動についてふりかえること。

【事後学修】授業後に配付する資料を読んだ上で、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第13回：ボランティアを多面的にとらえる②「求められる態度・姿勢」

【事前学修】「受け入れ側の視点」について復習し、自分の言葉で説明ができるようになっておくこと。

【事後学修】第1回から第14回までの授業内容をふりかえり、事後学修フォーム（moodle）を提出すること。

第14回：最終テスト／授業のまとめとふりかえり

【事前学修】第1回から第14回までの授業内容をふりかえり、復習しておくこと。

【事後学修】最終テストを見直し、授業全体のふりかえりを行い、本授業での学びを整理すること。

★オンデマンドその6 テーマ：最終テスト解説（10分程度）

※事前学修・事後学修は各回180分（3時間）必要である。上記内容を確認し事前学修・事後学修に取り組むこと。さらに、関連する文献を読んだり、インターネット等で調べるなど、自主的に学びを深めることを期待する。

授業の到達目標／Expected outcome

- 1、ボランティア活動の意義や社会での役割を論じることができること。
- 2、「社会問題を把握する力」「主体的に考え行動する力」の土台を経験すること。
- 3、受講生自身の「ボランティア観」が説明できるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・履修にあたり、ボランティア活動の経験は問わない。活動経験がなくても履修可能。
- ・授業履修に必要な私語／途中の入退室／飲食／携帯・スマホ（タブレット類含む）の使用は禁止する。
- ・受講生一人ひとりが、「学びの場づくり（学びの空間づくり）」の一員であることを意識して、受講すること。
- ・原則として定刻通りに授業を開始する。授業開始時間までに入室・着席し、受講できる状態に整えること。
- ・遅刻は厳重に対処する。
- ・15分以上の遅刻・早退は「欠席」と扱う。「遅刻・早退」2回で「欠席」1回と扱う。
- ・受講態度があまりにもひどいと教員が判断した場合は、減点の対象とし退席を命ずる。
- ・本科目受講後に「実践ボランティア（サービ斯拉ーニング）」「ボランティア論」を受講することで、ボランティア活動についての理解や知識がさらに深まり、体系的に学ぶことが可能となります。

評価方法／Evaluation

以下（1）から（3）に基づき、総合的に評価する。

- （1）平常点1 40%（14回分の受講態度・感想フォームの提出・事後学修フォームの提出）
- （2）平常点2 10%（★オンデマンド（6回を予定）に関する課題フォームの提出）
- （3）試験点 50%（確認テスト2回、最終テスト1回、詳細は授業内で説明）

- ・出席回数が全講義の3分の2以上ない場合は、「/」（成績日数不足）とし、成績評価しない。
- ・出席回数が3分の2以上でも、確認テストおよび最終テストが未受験の場合は成績評価しない。
- ・最初の3回を連絡なく無断で欠席した者は受講意思がないものとみなし、成績評価しない。

※確認テスト2回、最終テスト1回は、実施後に解説動画を配信する。

※初回に、本授業における「出席回数」の定義や評価方法等、重要な事項について説明を行うので、必ず出席すること。やむを得ない理由で欠席する場合は、必ず事後に自分自身でその内容を確認すること。

教材／Text and materials

教科書：なし。授業内で適宜参考資料等を指示する。

質問や相談の方法／Instructor contact

原則として、授業の前後で対応する。その他、初回に案内するメールアドレスへ連絡すること。

その他／Others

- ・単なる知識の理解にとどまらず、大学での学び方を実践したり、将来にいかせる知恵や自分自身の生き方のヒントを学んでほしいと考えています。積極的に学内外のボランティア活動に参加し実体験を積んでください（学業に支障のない範囲で）。
- ・ボランティア活動の情報収集や相談には、ボランティアセンター（13号館地下1階）を大いに利用してください。ボランティアコーディネーターという頼れる専門職員さんがいます。